

## ナスのカルテック施肥例

(10アール当り)

品種: 中長形(筑陽・黒陽), 長卵形(千両・千両二号)

地力作り	<p>なるべく早く(定植1ヶ月前までに)、右記の資材を同時に投入し、なるべく深く耕します。</p> <p>※<b>深耕</b>して、通気性・保水性・保肥性にすぐれた<b>深い地力</b>を作り、<b>深根</b>をしっかりと働かせます。</p>	<p><b>ラクト・パチルス 600g</b> <b>堆厩肥 2トン</b>(以上、なるべく多く)</p> <table border="1" data-bbox="762 398 1361 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>硫 安</th> <th>畑のカルシウム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハウス長期栽培 (促成・半促成)</td> <td>120kg</td> <td>80kg</td> </tr> <tr> <td>露地栽培(長期) ~元肥栽培, 長ナス</td> <td>80kg~ 160kg</td> <td>60kg~ 140kg</td> </tr> <tr> <td>短期・追肥栽培</td> <td>60kg</td> <td>40~60kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ナスのように多チツソの作物は <b>土壌酸性の中和</b>に注意! <b>深層のpH</b>まで測定してカルシウム量を増減します。 経験的に見て ナスの好適土壌pHは(通常の作物同様) <b>作付け前:6.0~6.5, 栽培中:5.5~6.3</b>です。 (追肥で酸性中和が出来ない前提の農法では6.5~7.5が好適とされますが、それでは高pHで徒長しやすくなります。)</p>		硫 安	畑のカルシウム	ハウス長期栽培 (促成・半促成)	120kg	80kg	露地栽培(長期) ~元肥栽培, 長ナス	80kg~ 160kg	60kg~ 140kg	短期・追肥栽培	60kg	40~60kg
	硫 安	畑のカルシウム												
ハウス長期栽培 (促成・半促成)	120kg	80kg												
露地栽培(長期) ~元肥栽培, 長ナス	80kg~ 160kg	60kg~ 140kg												
短期・追肥栽培	60kg	40~60kg												
整地・ウネ作り時	全面またはウネ上に散布。	<b>畑のカルシウム 20kg</b> (初期の開花・結実促進)												
育苗期	茎葉より根を強くし、徒長させず、硬くしまった苗作り。 (水をやりすぎないように)	<b>濃縮酵素液, カルテックCa液状</b> 各500倍(幼苗1000倍)で葉上からタツプリ散布。 本葉展開後、接木後4日間を除いて、4日ごと交互散布。 ※とくに <b>移植3日前</b> にはCa液でガツチリ充実させる。												
<p>特に推奨する</p> <p><b>調節</b></p> <p>灌水・灌注 葉面散布</p> <p>※もしチツソ肥料がほしい場合は、追肥か、アミノ酸液を</p>	<p><b>定植時</b>(ドブ漬け、及び予め植え穴に灌水し<b>土深く迄湿らせる</b>)</p> <p><b>1ヶ月間の灌水</b> (チツソを使わずEC0.2以下に) (以降は、月ごと、または半月ごとに 定期灌水・散布を)</p> <p><b>花が多くなる前から葉面散布</b> (以降、7~14日ごと定期散布)</p> <p><b>着果数が増えたら</b> (成り疲れ前に、遅れないで) (以降、半月ないし月ごと定期灌水)</p>	<p><b>濃縮酵素液 2~5リットル灌水</b> (葉にかかるなら500倍) ※<b>定植直後以降はなるべく灌水せず</b>、やや萎れても(深く伸びる根の力)で夕方回復する程度で、活着・生長させます。</p> <p>※灌水の場合、<b>酵素液</b>混合で水量多くタツプリと土の深層まで染込ませます。《<b>少回数・多量の灌水で深い根を</b>》 ※2~3本に仕立て、他の側枝を切取ったら、<b>酵素液</b> 灌水と、<b>Ca液</b> 葉面散布とを行い、栄養バランスを保持</p> <p><b>カルテックCa液状 500倍 葉面散布</b> ※もしチツソ過多・カビ頻発の場合 2~10リットル灌水。</p> <p><b>濃縮酵素液 2~10リットル 灌水</b> ※果実を肥大させながら、着果負担より更に強壮な根の力で、草勢を維持し、花着きを持続させ、生育の波を無くします。</p>												
追肥	<p>通常は 収穫継続中、月1回</p> <p>(状態によって適宜増量)</p> <p>※元肥の多肥栽培では、もしチツソが切れた場合のみ、硫安施用。</p>	<p><b>硫 安 30kg</b>(根が強くて葉色薄い時) <b>畑のカルシウム 30kg</b>(~60kg)</p> <p>※少なくとも月1度(なるべく深層まで、アチコチの)土壌pHを測定し、<b>pH:5.5以下の酸性にならないよう</b>に 適宜、畑のカルシウムを施用して下さい。《<b>最重要!</b>》 <b>※もし生長が萎縮し、花色薄く、着果が悪く、カビが蔓延したら、土壌が酸性になっていないか調べ、酸性なら直ちに 畑のカルシウムを ウネ上・ウネ肩・通路に追肥して 回復させます。</b>(酸性でなければ酵素液灌水)</p>												